



Shunan Gikai Dayori

市議会だより

<http://www.city.shunan.lg.jp/section/gikai/>

平成26年
11・15
No.48

発行/周南市議会 編集/議会だより編集委員会 〒745-8655周南市岐山通1-1 TEL.0834-22-8503



次世代の周南市を担う若い力が集結

第5回定例会《概要》	2
委員会レポート(その1)	4
議案等の議決結果/全員協議会の概要	6
一般質問	7
委員会レポート(その2)	10
臨時会の概要/議会が行う行政評価	11
まちづくり総合計画に関する決議	12

10月4日に、こども議会が開催されました。▼市内の小学校6年生29人が、こども議員となり、議場で一般質問を行いました。▼当日は、議長が進行役となり、本会議と同様に会議が進められました。▼こども議員は5つのチームに分かれ、それぞれのチームがまちづくりの夢や希望について、質問や提言を行い、市長や部長が答弁をしました。

第5回 定例会の概要

『まど・みちお』さんの絵画等を美術博物館に常設展示する経費などの一般会計補正予算を全会一致で可決

第5回定例会を9月2日から19日までの18日間開催しました。

今定例会では、一般会計及び特別会計の補正予算、企業会計決算をはじめ、老朽化した櫛浜公民館・支所を新たに建設するための工事請負契約の締結（新櫛浜公民館・支所改築主体工事）などの市長提出議案42件、委員会提出議案1件、請願1件、陳情1件を審議しました。

今回の一般会計補正予算の内容は、国のがんばる地域交付金を活用した、小学校及び体育施設の整備に伴う経費をはじめ、水痘、高齢者の肺炎球菌感染症の定期予防接種化に伴う経費9028万6000円、街路照明灯の更新に3670万円、美術館に「まど・みちお」さんの常設展を設置する経費283万9000円を補正するもの、また、債務

一般会計補正予算は全会一致で可決

負担行為補正として、外国語指導手配置業務委託料を追加するなど、総額16億3255万4000円の増額補正です。討論では、「高齢者から幼児に至るまで、予防接種により病気が予防でき、安心安全につながる事業として大変喜ばしいものである。また、まど・みちおさんの功績を多くの方々に、アピールしていただきたい」との賛成意見がありました。採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

討論では、「幼保連携型の認定こども園や特定地域型保育事業の展開、また、家庭的保育事業が可能となり、学校教育、保育の一体的な提供により、多様なニーズに応えることのできる道を開くもので

定例会の主な日程

9月2日/本会議

市長提出議案
○提案説明・質疑・委員会付託
中間報告（企画総務委員会、徳山駅周辺整備対策特別委員会、公共施設再配置計画及び新庁舎建設に関する特別委員会）

9月4日～9日/本会議

一般質問（21人）：9月4日～9日

9月10日～12日/常任委員会

付託議案・請願・陳情の審査、所管事務調査ほか

9月19日/本会議

行政報告
○健全財政推進計画の進捗状況について
市長提出議案
（平成25年度決算認定議案）
○提案説明・質疑・委員会付託
市長提出議案・請願・陳情等
○委員長報告 ○討論 ○表決
委員会提出議案
○提案説明・質疑 ○討論 ○表決
中間報告（公共施設再配置計画及び新庁舎建設に関する特別委員会）

意見書の提出

今定例会で可決した意見書を関係大臣へ提出しました。

手話言語法制定を求める意見書

手話とは、日本語を音声ではなく手や指、体などの動きや顔の表情を使う独自の語彙や文法体系をもつ言語である。手話を使う者にとって、聞こえる人たちの音声言語と同様に、大切な情報獲得とコミュニケーションの手段として大切に守られてきた。

しかしながら、ろう学校では手話は禁止され、社会では手話を使うことで差別されてきた長い歴史があった。

2006 年（平成 18 年）12 月に採択された国連の障害者権利条約には、「手話は言語」であることが明記されている。

障害者権利条約の批准に向けて日本政府は国内法の整備を進め、2011 年（平成 23 年）8 月に成立した「改正障害者基本法」では、「全て障害者は、可能な限り、言語（手話を含む）その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される」と定められた。

また、同法第 22 条では、国・地方公共団体に対して情報保障施策を義務づけており、手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備に向けた法整備を国として実現することが必要であると考えます。

よって、国におかれては、上記の内容を盛り込んだ「手話言語法」を早期に制定するよう強く要望する。

あり、大いに期待する」との賛成意見がありました。一方、「新しい制度は、市町村が保育の実施責任となっているが、幼保連携型認定こども園や家庭的保育などは、市町村の保育実施義務の対象外となり、保護者と施設が直接契約し、利用することになることから、公的責任の放棄になると考える。また、幼保連携型は、保育時間が異なる子

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

討論では、「共働き家庭の

どもが一緒に保育を受けることや、3 歳以上の保育は、短時間と長時間の保育で内容が区別され、一貫性がなくなる」との反対意見がありました。採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決しました。

増加など、多様化したライフスタイルに柔軟に対応し、子育てしやすい環境整備が大きく前進することを期待する」と「国の基準では、学童保育の対象児童は小学校 6 年生までとなっているが、条例案の中では明記がされていない。今後、保護者の要求に沿って対象児童の拡充が行われることを期待する」との賛成意見がありました。

今後の本会議の予定

11 月【臨時会の予定】

11 月 28 日（金）…………… 本会議

12 月【定例会の予定】

12 月 2 日（火）…………… 本会議

12 月 4 日（木）～9 日（火）

…………… 本会議（一般質問）

12 月 10 日（水）…………… 3 常任委員会

12 月 11 日（木）・12 日（金）… 予算決算委員会

12 月 18 日（木）…………… 本会議

※本会議・委員会は午前 9 時 30 分から開催します。

※土・日曜日は休会です。

※日程の変更はホームページ等でお知らせします。

消費税増税の撤回を求める意見書の提出を求める請願

採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

討論では、「物価高騰と消費税増税を 8% に引き上げられたことで、消費が冷え込んでいる。今、政府がやることは増税を中止して、賃金と雇用を立てなおすことである」との賛成意見がありました。採決の結果、賛成多数で不採択と決定しました。

平成 25 年度 企業会計決算を認定

水道事業会計決算の認定の討論では、「簡易水道の赤字や、戸田・夜市・湯野の不採算事業は、都市部の水道収入で補填するのではなく、一般会計から繰り入れらるべきである。また、大津島海底送水管に対しても、全額一般会計から繰り入れをすべきである」との反対意見がありました。採決の結果、賛成多数で決算を認定しました。

放映の
らせ

◆本会議を生放送します。

CCSS……デジタル1111ch、デジアナ11ch

KLJ……デジタル1233ch、デジタル11ch

メディアリンク……デジタル1222ch、デジアナ5ch

委員会レポート (その1)

各常任委員会における議案等の審査の状況です。

予算決算委員会

環境建設委員会

工事の変更は、効率性を考え、最少の経費で工事完了に努める

工事請負契約の一部変更 (福川漁港温田地区海岸保全 施設整備事業(第3工区))

執行部から、変更金額の内訳は、急激な賃金等の変動による請負代金額の変更が約308万円の増額、護岸部の標準断面の変更や先行掘削の追加が約190万円の増額、工法の変更や現場精査等による

減額が約244万円であり、工期は台風等の影響により約3カ月延びる、との説明を受け質疑を行いました。

主な質疑として「設計段階の調査をきちんとすれば、変更をしなくても済むのではないか」との問いに対し、「設計段階で、くまなく調査を行えば、業務委託に係る費用が増える。また、実際に地下を掘

削してみなければ形状を確認できないこともあるため、工事を進める中で形状が違っていれば、変更の対象としている」との答弁でした。

採決の結果、全会一致で可決すべきものと決定しました。

児童遊園条例の一部改正

この議案は、地元自治会からの廃止要望を受け、室尾の中開作児童遊園の廃止に関する条例改正を行うものです。

主な質疑として「廃止の理由と経緯は」との問いに対し、「少子化等で利用者が少なく

なり高齢化によって維持管理も難しくなったため、地元自治会が近隣自治会にも意向を諮りながら、自治会総会において、廃止の方向となり申し出がされた」との答弁でした。また、「今後、廃止の相談があった場合の市の対応は」との問いに対し、「即廃止という方向性は持っていない。現状を把握し必要性で判断したい。維持管理が難しい場合は、バックアップしていきたい」との答弁でした。

採決の結果、全会一致で可決すべきものと決定しました。

まど・みちお絵画作品を

美術博物館に常設展示

一般会計補正予算(第5号)

主な質疑として、まど・みちお顕彰事業費について、「現在、美術博物館には林忠彦さんの常設展示室もあり、十分なスペースが確保できるのか。また、新しくできる駅ビルに入れるなど、さまざまな検討はしたのか」との問いに対し、「今回の一番の目的は、まど

さんの絵画作品を展示したいということである。この絵画作品は、通常の画用紙等に絵具や鉛筆、ボールペンで描かれたもので、非常に劣化しやすく、温度や湿度、照明が調節できるところでないと展示が難しいことから美術博物館となった。また、2室ある常設展示室のうち、歴史展示室は、可動壁が置けるようにな

っており、比較的公費もかからず分割できる。スペース的には窮屈になるが、今ある内容のものは展示できる」との答弁でした。

次に、小学校施設耐震化事業・中学校施設耐震化事業の債務負担行為補正について、「入札不調や社会情勢の変化もあるが、平成27年度までの設定で完了するのか」との問いに対し、「確かに今までは入札が不調のときもあり、全てが順調にいくかは何とも申し上げられないが、最近は落札する状況になっている」と

の答弁でした。また、「平成27年度までに終わらせる努力はしているのか」との問いに対し、「第一義的なものは耐震補強をすることが大前提にある。それにあわせて著しく老朽化している箇所について計画を立てて進めている。社会状況を見つつ、工事内容の精査も行い、より受注しやすい工事内容の検討を考えている」との答弁でした。

採決の結果、全会一致で可決すべきものと決定しました。



新たに建設される
新櫛浜公民館・支所のイメージパース



教育福祉委員会

主な質疑として、「改修前と比べて、どのくらい面積が増えているのか」との問いに対し、「現行の施設は、支所部分が134㎡、公民館部分が460㎡である。新施設は、支所部分が95㎡、公民館部分が957㎡である」と

の答弁でした。討論では、「この施設は、現在の櫛浜支所・公民館に隣接する遊休市有地を一体的、有効的、効果的に活用すること。また、櫛浜まちづくり協議会との長い協議を重ね、市民参画でつくり上げてきたことの避難場所に指定されているが、老朽化等で適していないことが解消されること。

主な質疑として、「周南市で聴覚障害に該当する方の人数は」との問いに対し、「聴覚障害を主な障害として障害者手帳の交付を受けている方

は423名で、手話を使われている方は100名程度である」との答弁でした。討論では、「障害者基本法が改正され、手話が言語に含まれることや、社会環境整備を国として実現する必要がある」と明記された。よって、国

支所・公民館の老朽化に伴い、櫛浜地区に新たな地域交流拠点を整備

工事請負契約の締結
(新櫛浜公民館・支所改築主体工事)

手話言語法定を
求める意見書の
提出を求める陳情書

手話言語法定を
求める意見書の
提出を求める陳情書

採決の結果、全会一致で可決すべきものと決定しました。採決の結果、全会一致で可決すべきものと決定しました。

平成2年に配置された
消防ポンプ自動車



企画総務委員会

使用から24年を経過し、
消防ポンプ自動車を更新

動産の買い入れ
(消防ポンプ自動車)

主な質疑として、「平成2年の配備から24年も経過している。耐用年数を考えても、十分な対応ができるのか」との問いに対し、「使用頻度や走行距離、資機材等の耐久性を考慮して、更新は15年を目安としているが、日々の署員、隊員の適切な維持管理により、

この請願は、参考人の出席は求めないことを決定し、審査を行いました。討論では、「請願の趣旨に

消費増税の
撤回を求める意見書
提出を求める請願

消費増税の
撤回を求める意見書
提出を求める請願

は消費税がふさわしくないとあり、現在の社会的状況の中で、消費税をどう捉えるかなどのいろいろな問題が含まれている。消費税そのものは法律に根拠があるので、それを撤回するという考え方にはならない。したがって、請願事項や趣旨について賛成するというわけにはいかない」「今現在、消費税の部分についてそれぞれ地方にも交付されているので、根本を否定する意見を提出することには反対である。ただし、8%から10%への上乗せについては、極め

て慎重に判断していただくようにという意見を付したい」との反対討論がありました。採決の結果、全会一致で不採択すべきものと決定し、「政府におかれては、消費税率8%から10%への判断を今年中に予定されているが、10%に上乗せすることに対する生活不安や経済活動への影響を懸念する声も上がっているのも事実である。よって、上乗せの判断は極めて慎重にすべきである」との意見を付すことを賛成多数で決定しました。

テレビお知

◆一般質問の再放送は、その翌日午後6時から。
◆定例会期中の委員会審査の様子を2時間にまとめたものを録画放映します。日程はホームページでお知らせします。

議案等の議決結果

市長提出議案：平成26年度補正予算		議決結果
◆ 一般会計補正予算（第5号）⇒16億3,255万4千円の増額補正		可決(全会一致)
◆ 国民健康保険特別会計補正予算（第1号）⇒1億1,220万8千円の増額補正		可決(全会一致)
◆ 後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）⇒4,462万6千円の増額補正		可決(全会一致)
◆ 介護保険特別会計補正予算（第1号）⇒2億5,321万5千円の増額補正		可決(全会一致)
◆ 簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）⇒2,199万9千円の増額補正		可決(全会一致)
◆ 駐車場事業特別会計補正予算（第1号）⇒951万5千円の増額補正		可決(全会一致)
◆ 徳山モーターボート競走事業会計補正予算（第1号）⇒建設改良費2000万円の増額補正及び継続費の設定		可決(全会一致)
◆ 下水道事業会計補正予算（第1号）⇒徳山市水洗便所改造資金貸付基金条例の廃止に伴い、基金を一般会計へ返還するもの		可決(全会一致)
市長提出議案：条例改正など		議決結果
◆ 人権擁護委員候補者の推薦について⇒河口喜美子氏		同意(全会一致)
◆ 西部市民交流センター条例の一部改正⇒西部市民活動支援センターを市民活動支援センターに改めるなどの改正及び市民交流センターを廃止することについて定めるもの		可決(全会一致)
◆ 勤労福祉センター条例及び徳山勤労青少年ホーム条例の廃止⇒勤労福祉センター及び勤労青少年ホームの廃止と関係する報酬及び費用弁償支給条例等の所要の改正		可決(全会一致)
◆ 市民館（労働会館）条例の廃止⇒市民館（労働会館）の廃止		可決(賛成多数)
◆ 保健センター条例の一部改正⇒市民館（労働会館）条例の廃止に伴う保健センター条例の所要の改正		可決(全会一致)
◆ 斎場条例の一部改正⇒大津島火葬場を廃止する改正		可決(全会一致)
◆ 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例制定⇒子ども・子育て支援法に基づく給付を受ける幼稚園、保育所などの教育・保育施設及び地域型保育事業の施設及び運営の基準を定めるもの		可決(賛成多数)
◆ 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例制定⇒家庭的保育事業等（家庭的保育事業・小規模保育事業・居宅訪問型保育事業・事業所内保育事業）の設備及び運営の基準を定めるもの		可決(賛成多数)
◆ 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定⇒放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準を定めるもの		可決(全会一致)
◆ 市営住宅条例の一部改正⇒関係法令の一部改正		可決(全会一致)
◆ 児童遊園条例の一部改正⇒中開作児童遊園を廃止する改正		可決(全会一致)
◆ 徳山市水洗便所改造資金貸付基金条例の廃止⇒徳山市水洗便所改造資金貸付基金条例の廃止		可決(全会一致)
◆ 平成26年度下水道事業会計資本金の額の減少⇒基金条例の廃止に伴い、基金を一般会計へ返還するため資本金の額を減少するもの		可決(全会一致)
◆ 動産の買入れについて⇒消防ポンプ自動車・救助工作車		可決(全会一致)
◆ 工事請負契約の一部変更（7件）⇒福川漁港温田地区海岸保全施設整備事業（第3工区）、久米中央土地区画整理事業雨水調整池設置工事、秋月小学校管理教室棟（NO.1）耐震改修主体工事、久米小学校教室棟（NO.10）耐震改修工事、（仮称）学び・交流プラザ建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事		可決(全会一致)
◆ 工事請負契約の締結（2件）⇒新櫛浜公民館・支所改築主体工事、樋口配水池築造工事		可決(全会一致)
市長提出議案：平成25年度決算		議決結果
◆ 水道事業会計決算の認定・剰余金の処分		認定及び可決(賛成多数)
◆ 下水道事業会計決算の認定・剰余金の処分		認定及び可決(全会一致)
◆ 病院事業会計決算の認定		認定(全会一致)
◆ 介護老人保健施設事業会計決算の認定		認定(全会一致)
◆ 徳山モーターボート競走事業会計決算の認定・剰余金の処分		認定及び可決(全会一致)
◆ 周南地区食肉センター組合一般会計歳入歳出決算の認定		認定(全会一致)
◆ 一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定		継続審査
陳情・請願ほか		議決結果
◆ 消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める請願		不採択(賛成少数)
◆ 手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情書		採択(全会一致)
委員会提出議案		議決結果
◆ 手話言語法制定を求める意見書		可決(全会一致)
報告：損害賠償の額を定めることに関する専決処分について、一般会計継続費精算報告書 平成25年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について	議会報告：例月出納検査の結果 行政報告：健全財政推進計画の進捗状況について	

全員協議会
を開催
(9月19日)

平成26年3月改訂 徳山下松港港湾計画について

《執行部の説明（要旨）》

徳山下松港は、本市の工業を支える産業基盤として、これまで重要な役割を担ってきたが、世界的な物流貨物の競争の中で、さらなる利便性の向上が求められている。こうした中、平成23年5月に、国の国際バルク戦略港湾に選定され、石炭供給における広域拠点港としての役割を担うための施設整備を、山口県港湾計画において早急に位置付けをする必要性が生じたことなどにより改訂された。

今回の改訂は、石炭を中心としたバルク貨物等の国際物流拠点港湾としての機能強化につながるものであり、本市の周南コンビナートを中心とした産業戦略にとって強力な追い風になるものと考えている。今後とも港湾管理者である山口県とも連携しながら早期の計画の実現を目指して積極的に取り組んでいきたいと考えている。

A 一般質問 Q

要旨 一般質問は、議案に関係なく市政全般について、市長などの執行機関に考え方や方針を問うものです。ここでは、質問項目を一つに絞って掲載します。

我が市の水素利活用事業の取り組みは
アクティブ 岩田 淳司

問 水素利活用事業では、根強い安全への懸念を払拭するなど地域の方々の理解を得な

から、企業との細やかな連携でオンラインワン自治体を目指すべきかどうか。

答 水素は将来エネルギーとして非常に有力で、それが大量に製造されるのが我が周南市の優位性である。安全面を含む市民への周知徹底・情報提供を行いながら国・県・民間企業としっかり連携を果たし、「水素のまち周南」の実現を目指す。また、地方卸売市場での燃料電池フォークリフト実証実験などは全国モデルとなり得る事業である。

自転車禁止、非常用電源なしの南北自由通路とは

周南会 長谷川和美

問 ①国の要綱での南北自由通路の定義は、「既存の停車場内で鉄道と交差し専ら歩行者、自転車の交通の用に供する道路又は通路をいう」とあるが、市条例で自転車の乗り入れが禁止となった理由は、②駅周辺で南北に自転車走行できる道はあるか。また、老朽化した旧近鉄松下裏の地下道は、毎日自転車500台と900人が通る。今後の整備の予定はあるのか。

答 ①JRの規則に自転車は専用袋で持ち込めるとあり禁止した。②旧近鉄松下裏と代々木公園側地下道の2本あり、適正に維持管理をする。

ぬくもりのある地域の農畜産物ブランド化は

新誠会 坂本 心次

問 道の駅ソレーネ周南は、市内農業者の発表の場である。周南ブランドをつくり、売るため、6次産業の環境整備が必要だが、今後の展開は。また、基盤となるファンタジアファームの考え方を示してはどうか。

答 たくさんの周南ブランドを育て、磨いて、とっておきの味、とっておきの周南を全国へ発信する。また、6次産業化や地産地消の取り組みは関係各課一丸となって進める。ファンタジアファームは鹿野地区の既存の地域資源を活用し、まちづくり総合計画や過疎計画に掲載して取り組む。

新庁舎と駅ビルによる相乗効果のイメージは

刷新クラブ 小林 雄二

問 庁舎建て替え位置は重要

であり、市民が魅力を感じる、全ての人がここに集うという思想が大事である。相乗効果によるにぎわいの創出の具体的なイメージは関心事の一つであるかどうか。

答 現在進めている新庁舎・駅ビルは、周南市の都心軸に位置しており、それぞれの施設に求められる機能を充実させ補完しあうことで、にぎわいと活力を生み出すものと考えている。ノーマライゼーション精神での庁舎建築は大前提であり、障害者団体への喫茶店運営なども十分検討していきたい。

用語の説明

※障害者や高齢者ができる限り、一般の人々と同じ生活がおくれる社会を築くという考え方

増え続ける空き家の対策について

刷新クラブ 田村 隆嘉

問 本市における空き家の実態は。また、増加する空き家の対策として、空き家の売却や賃貸を促進するための、解体、改修費用の補助や固定資産税の減免措置、賃借料補助等の制度化ができないか。

答 空き家等の適正管理に関する条例の施行後、市に寄せられた情報提供は20件、そのうち管理不全な空き家が18軒で、12軒の所有者に解体や補修の指導をした。また、現在、他の自治体の先進事例を収集、分析している。国の法整備状況を注視しながら対策を検討する。

人口減少対策に市はどのように取り組むのか

参輝会 岸村 敬士

問 予測では、10年後の本市の人口は13万3502人で、今より1万1532人の減少となる。また、住民税も減少となるので大変危惧をしている。若い人が周南市に住んでもらうために、若者に投資できないか。例えば、婚活を推し進める。出産祝い金を出す。特に3人目からは増額する。小学生まで医療費を免除するなど取り組みは幾らでもある。人口減少対策課などをつくらせて取り組まないかどうか。理屈はいいから、市を挙げて人口減少に対応をしたい。

学校図書館司書の配置換えの理由は何が

周南会 友田 秀明

問 学校図書館司書の配置換えが行われたが、十分な引き継ぎができていなかったのではないか。また、富田西小学校のモデル校制度は、司書の働きや仕事の中身を各校が目標として、モデル校の図書館を踏襲するまで、モデル校及び司書は継続すべきではないのか。

答 学校の人事は、校長が責任を持って具申をし、教育委員会が人事を行うが、配置換えが行なわれた場合は、引き継ぎをするのは当然のことである。モデル校については、成果が確認できたので、モデル校指定はしていない。

中心市街地活性化基本計画と徳山停車場線の見直しは

周南会 西田 宏三

問 中心市街地活性化基本計画が果たして町の活性化を生み出すことができるのか。また、徳山停車場線の着工はあるのか。

答 基本計画に掲載している事業については確実に進める。また、徳山停車場線は都市計画審議会の中の特別委員会で

市の組織の一部見直し・再編が必要だ

新誠会 土屋 晴巳

問 発達障害児の長期的かつ継続的一貫性のある育成支援のためのガイドラインはあるのか。また、複数の関係課がかかわるため組織の再編も検討してはどうか。

答 本市では発達支援について、一貫したガイドラインはない。就学前は健康医療部、就学後は教育委員会が中心となり、関係部署が情報共有や連携強化をして、支援体制の充実を図っている。また、子育て全般における組織のあり方について、さまざまな自治体の事例も参考にしながら研究していく。

都心軸の文化ビジョンを示すべきでは

参輝会 青木 義雄

問 旧徳山市時代に市民館解体の議論があったが、紆余曲折の末に市民館を残した。文

化会館の建設により、超一流の音楽・舞台・芸術等に直接触れ、それに触発された市民が市民館を活躍の場として利用したことによる相乗効果で、文化不毛の地から、緑と文化のプロムナードに劇的に進化した。この経緯を踏まえ、都心軸の文化ビジョンを示すべきではないか。

答 市民館は解体するが、文化会館などの既存の施設があり、さらに市民利用会議室を新庁舎に整備することなどにより、これまでと同様に、この区域は文化・芸術振興の中心地であると考えている。

橋りょうインフラ整備の促進で更なる安全安心を

公明党 相本 政利

問 周南市で管理する橋りょうインフラ整備の状況は。

答 平成20年度から25年度までの間で橋りょう長寿命化修繕計画の対象は782橋で、橋の構造や建設年数などの基礎調査や外観目視点検を実施し、その結果、補修が必要な橋りょうは全体の約15%の114橋である。また、15メートル以上の橋りょう163橋は市のホームページで長寿命化修繕計画を公開しているが、全体の修繕計画も間もなく公

徘徊・見守りSOS ネットワークの設置を

公明党 金子 優子

問 認知症支援の取り組みとして、既存のもやいネットセンターと認知症サポーター制度を活用し、徘徊・見守りSOS ネットワークの設置はできないか。

答 認知症の方が行方不明になられた場合は、既に共助による全市の高齢者見守りをもやいネットセンターの中で関係者や警察と連携して対応している。今後は、もやいネットセンターに徘徊・見守りSOS機能を加えた体制づくりを協議、検討していく。また、認知症サポーターの方にも活躍いただくことも検討している。

空き家対策と対応の具体策を問う

公明党 吉平 龍司

問 都市部の空き家物件の要因は、子どもの独立や所有者の死亡などさまざまであり、高度成長期に建設されたもの

コンベンションシティー推進条例の制定を

参輝会 長嶺 敏昭

問 コンベンションシティーを標榜するのであれば、市長市職員、関係団体、さらには市民の責務を明確にするとともに、遠くから来てくださるお客様に恥ずかしくない「おもてなし」の重要性を規定し、実践するための意識の底上げを狙うため、「周南市コンベンションシティー推進条例」を制定し、他市にない先進的なホスピタリティーの空気を感じられるまちづくりを目指してはどうか。

答 まずは今の体制でコンベンションの心を生かしながら進める。条例を制定するかどうかは検討課題にさせてほしい。

新徳山駅ビル整備は検討中ばかりで市民は不安

中村富美子

問 ①駐車場の利用形態は。

②にぎわいは商店街と連携を図るというが、具体的にはどういうものか。また、駅ビル利用者は1日800人というが変わらないのか。③1階から3階まで民間活力導入図書館という名称になっているが、図書館司書の方が1階で本を販売することもあるのか。

答 ①一定時間無料にする方向で検討している。②駐車場料金を払っても行きたくなくなる魅力あるまちづくりをお願いしたい。また、利用者数の想定は再検討する。③今までにない運営方法を期待しているので検討したい。

広島土砂災害の教訓と人口減少対策を問う

周南会 島津 幸男

問 ①公務員の消防団入団が可能となったが、本市の状況は。

②防災マップは全家庭に配布できているか。また、子どもたちへの防災教育は行っているか。③市内の貧困児童の実態と対策は。

答 ①職員は60名入団している。②自治会に入っている方には完全に配付している。また、「津波でんでんこ」という言葉があるところと同じではないが、懸命に防災文化をつくりたい。最終的には、自分の命は自分で守ることである。③国から示された定義と

いうものを持つていない。また、はっきりとした数字も持ち合わせていない。

用語の説明

※津波はあつという間をやつてくるので、周囲の者がかまうよりも、各自でんでんばらばらに逃げなさいという三陸地方の言い伝え

介護・医療一体の地域包括ケアシステム構築

公明党 金井 光男

問 地域包括ケアシステム構築のためには地域包括支援センター(愛称いきいきさぼーと)は質・量ともに強化の必要があるのではないか。最低でも日常生活圏域7圏域をカバーすべきではないか。

答 認知症対策の推進や、在宅介護と医療の連携強化を推進するなど、さらに重要な役割を担うことになるため、機能強化と再編は必至である。運営協議会の中間報告でも、

新たな広域連携にCSN

新誠会 田村 勇一

問 将来の人口動態を見据えて、少子化対策や人口定住促進事業、公共施設再配置計画等、市町村の単独実施から、新たな広域連携を積極的に進めるきではないか。

答 日本全体の未来にかかわる大きな課題と位置づけ、地方の活力の維持と東京一極集中に歯止めをかけるため、国と地方が連携して人口減少対策に取り組む。また、次期まちづくり総合計画の基本構想案にも目指す町の姿を、「人・自然・産業が織りなす未来につながる安心自立都市周南」として、今後、県や近隣市町と連携して取り組む。

オープンデータに「取り組んでみてはどうか」

アクティブ 井本 義朗

問 全国で行政が保有する膨大なデータを営利・非営利の

目的を問わず、二次利用が容易な形式で公開し、新たな価値の創造につながるオープンデータの取り組みが進められている。アプリの開発やマーケティングなどさまざまな企業活動、市民活動に利用され、結果的に市民生活を豊かにする有意義な取り組みである。本市でも取り組んではどうか。

答 市民の利便性が向上し、新たな産業創出などが期待できると注目している。できるだけ早い時期に基本的な取り組みの方向性を決定し、着実に進めたい。

道の駅により地域の1次、2次産業の振興を

周南会 伴 凱友

問 地域振興のために、県外・市外からの仕入品に頼るより、周南市での製造を振興し、6次産業の発展を期すべきだ。回天の名をつけたカレーなどは、地元で生産ができるのではないか。また、熊毛地区の農業振興のために、東部道の駅をつくる必要があるのではないか。

答 道の駅売上額の69%が市内産である。農業振興は広く行っているが、生産、加工、

徳山駅周辺整備事業でにぎわい創出は可能か

参輝会 古谷 幸男

問 ①徳山駅ビル完成後、また、南北駅前広場の完成後、人の流れはどうなるか。②駅周辺に医療、福祉、商業施設を兼ね備える町の仕組みをつくるべきである。まちづくりは終わらないはずだ。

答 ①新駅ビルの新たな図書館利用者を中心市街地全体へ波及効果が行き渡るように、中心商店街への動線を強化する。②玄関口で町の顔である新しい徳山駅ビルは、来る人のおもてなしの場、住んでい



委員会レポート

(その2)

～ 中間報告 ～

企画総務委員会

観光行政及びコンベンション
シティに関する調査

委員会での調査の状況を本
会議に報告しました。

《執行部の説明(要旨)》

「一般財団法人周南観光コ
ンベンション協会は、昨年5

月22日、全国からの観光客及びコンベンションの誘致支援等を行うことで、周南地域の観光・物産振興、地域間交流の拡大、地域経済・文化の活性化に寄与することを目的に設立された。事業を戦略的に進めるため、組織内に観光、特産品、イベント、コンベンションの4つの委員会を設置し、各種事業に取り組みたい」との説明を受けました。また、25年度決算と26年度事業計画についても報告を受け質疑に入りました。

《主な質疑・答弁》

問 駅ビル解体に伴い、観光案内所をどこに設置するのがベストなのか、市が積極的に考える必要がある。中心市街地整備部にも意見を求め、全体的なまちづくりの視点で、十分な連携をとって議論すべきと思うがどうか。

答 中心市街地の中で一番適切な場所の検証しながら協議を行い考えたい。駅ビルは周南市の顔でもあるので、引き続き中心市街地整備部と連携し、戦略的な周南のまちづくりに努めたい。

徳山駅周辺整備 対策特別委員会

(仮称)新徳山駅ビル基本
設計の進捗状況について

委員会での調査の状況を本
会議に報告しました。

《執行部の説明(要旨)》

基本設計(案)は、基本構
想をもとに市民や議員から
いただいた意見を反映させて
くりあげた。

駅ビルの1階の大部分は、
カフェや書店を中心とする民
間活力導入図書館とし、その
他に商業施設やイベント・防
災倉庫、交番を設ける。そし
て、2階から張り出したオー
プンデッキの下を、イベント
等に活用できるピロティース
間とする。また、2階は南北
自由通路と連結させ、インフ
ォメーションスペースや市民
活動支援センターを配置する。
中央部分は、カフェ・物販と
図書館を一体とした民間活力
導入図書館をあて、新駅ビル
のメインスペースとする。さ
らに3階の中央部分も民間活
力導入図書館とし、学習室や

会議室等も設けることにして
いる。なお、設計については、
用途に特化したものでなく、
将来、さまざまな転用の可能
性も考慮したものにしている。
また、新駅ビルの西側は、自
転車約300台、バイク約40
台、車約110台を収容でき
る駐輪・駐車場棟を建設する。

《主な質疑・答弁》

問 駅ビル工事の間は、南北
自由通路は通行どめになるのか。

答 夜間は通行どめをお願い
することがあるかもしれない
が、通路に仮囲いを行い、通
行者への安全対策を図りなが
ら工事を進める。

問 イベント・防災倉庫には、
どのようなものを備えるのか。

答 交通結節点の駅にある公
共施設であり、帰宅困難者な
どが一時的に避難できる最小
限の防災備品を備えるととも
に、ピロティースで開催するイ
ベント用の備品を収納する。

会での調査の状況を本会議に
報告しました。

新庁舎建設事業のうち、庁
舎全体のことについては、
10月に各会派の意見をまと
めることとし、8月27日の委
員会では、現時点での意見を
提出しました。

《主な意見》

「免震構造は魅力的だが、
コストについて、耐震構造と
の比較が必要」、「建設後60
年間のライフサイクルコスト
の検証が必要」、「外観ガラス
張り構造は、清掃などのラン
ニングコストがかさむのでは
ないか」などがありました。

議事堂については、議会議
堂委員会、会派代表者会議で
検討を行い、執行部へ要望し
た内容の報告を受けました。

《主な要望》

「議場は、現状の形を基本
とし、車椅子対応可能とす
る」、「傍聴席は、2段程度で
議場が見やすいように配慮す
る」、「委員会室は3室とす
る」、「議事堂全体のレイアウ
トは、正副議長室や事務局か
ら議場等への動線を考慮して
配置する」などです。

公共施設再配置計画 及び新庁舎建設に 関する特別委員会

8月27日と9月10日の委員

第6回 臨時会の概要

10月28日に臨時会を開催し、平成25年度の決算議案を審議したほか、委員会提出議案として議会が実施した行政評価に関する決議、及びまちづくり総合計画に関する決議を行いました。審議結果は次のとおりです。

《議案の審議結果》

◆ 平成25年度一般会計特別会計歳入歳出決算の認定	認定(賛成多数)
◆ 議会が実施した行政評価に関する決議	可決(賛成多数)
◆ まちづくり総合計画に関する決議	可決(賛成多数)

予算決算委員会(議会が行う行政評価)

決算審査で議会として行政評価を実施しました。

閉会中に平成25年度一般会計及び特別会計の決算審査を行いました。また、決算審査とあわせて、次の9事業について議会が行政評価を行いました。委員会ですとめた意見は、次年度の予算編成に反映させるため、全会一致で委員会提出議案として議長に提出しました。

【大津島ふれあいセンター管理運営事業費】 評価3:縮小する

離島振興目的で平成3年に整備された施設であるが、建築後23年が経過し、老朽化が激しく、平成8年をピークに利用者は年々減少傾向にある。大規模改修が困難という状況はいたし方ないが、地域のコミュニティセンターとしての機能、各種団体の研修やイベント会場など地域に必要な施設として、施設の存続が必要である。ただ、宿泊棟については縮小はあっても、釣り客やレジャー客だけでなく、里帰りの元島民などの利便性のため小規模改修による存続を図りつつ、大津島巡航や回天記念館等の利用者分析を行いながら「大津島海の郷」との機能分担による施設のあり方を検討すべき時期に来ている。また、運営については、地域おこしも兼ねて、地元の民間団体による指定管理も模索すべきである。

【観光コンベンション推進事業費】 評価2:現状維持

コンベンションシティ推進のためには、観光地の再発掘や観光資源の一点集中型の売り込みなどいろいろな取り組みが考えられる。なによりコンベンションシティ推進を標榜するのであれば、(1)観光コンベンション協会と事務的・戦略的連携を図り事業を進める必要がある。(2)補助金の支出だけでなく、市、コンベンション協会、市民それぞれが「おもてなし」の重要性を認識し、実践するための意識の醸成を図る施策の展開等が必要である。

【中山間地域定住促進事業費】 評価1:拡充する

「里の案内人」などの設置で移住者の受け入れの実績も上がってきているようだが、一定の施策も即効性を持つものではなく、長期的な取り組みが必要である。中山間地域への定住促進に対して行政は何ができるのか、また動機づけができるのかという視点から、従来から取り組んでいる里の案内人の養成や空き家等の地域情報はさらにその取り組みを進められたい。また、先進的な取り組みとして、(1)住まいの紹介と就労サポートをセットで行う。(2)市有地を新婚家庭や子育て世代に畑つき宅地として無償で団地的に提供する。などの先進的な取り組みにより若者定住を前面に出した思い切った新たな施策を展開する必要がある。

【民俗資料展示室管理運営事業費】 評価1:拡充する

周南市の民俗・歴史資料の伝承はこれからも必要であり、市の宝として保存・展示されるべきものである。しかし、施設としては立地の悪さ、展示品に対する狭隘なスペースはもとより老朽化が著しく建物の廃止は避けたい。建物は廃止としても、小学生の社会科の授業にも大いに活用できる環境づくりなど事業内容は拡充してでも進めるべきであり、体験学習が可能な利便性の高い場所への移設を検討すべきである。なお、この際周南市全体を見渡して、類似施設との統合も含めて検討されたい。

【図書館システム管理運営事業費】 評価2:現状維持

ICタグ等を活用した図書館システムについては、高額なインシャルコストが導入の障害となっているようだが、正確かつ迅速な貸出管理や業務改善による人件費の削減などその効果も期待できることから電子図書への貸し出しも含めて導入に向けて検討すべきである。その際、平成25年2月に導入したシステムでの一人当たりの貸し出し数や利用人口等のデータなど詳細に把握し、ランニングコスト等の費用とあわせて検証することが必要である。

【大津島ふれあい愛スクール事業費】 評価4:廃止する

事業としては不登校対策のみならず地域振興など大変意義深いものがあるが、大津島における学校運営継続が困難という状況から廃止はやむを得ない。ただし、これまで成果を上げてきた大津島ふれあい愛スクールのカリキュラムやノウハウを十分に検証し、(1)2カ所で行われる適応教室事業に生かし、より一層の効果上げる。(2)市内の別の小規模校での事業や自治体の枠を超えた周辺自治体との広域的な連携による事業展開も検討していく。一方で、今後の不登校児童・生徒対策は学校、家庭やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の連携で新たな方針を示し、取り組んでいく必要もある。

【港湾振興事務費】 評価2:現状維持

山口県主体の事業ではあるが周南市の当事者意識が希薄に感じる。ポートセールス推進協議会やポータル局の運営は港湾振興には必須であり、早期完成に向けての港湾整備等、県との協議を積極的に進め努力願いたい。あわせてにぎわいの創出という視点からも市がもっと主体的、積極的に徳山駅南側整備についてのグランドデザインの検討を進めるべきである。

【リサイクルプラザ啓発施設運営事業費】 評価2:現状維持

休館期間を除いて、来館者数は増加しているが、「環境館」の平成25年度来館者3,381人は余りに少ない。環境館の利用頻度を上げるためには市内の小・中学校や自治会等への案内や修学旅行、研修・視察旅行の受け入れなど積極的な来館へのPRをすべきである。また、エコフェスタ開催は会場を環境館に限定せず、(1)出張でのイベントなどにより環境についての啓発を行う。(2)環境館の利用促進を促す幅広いPRを行う。などごみの排出削減意識の高揚を図るため、事業内容の見直しや事業PRを積極的に進めるべきである。

【長田フィッシャリーナ管理事業費】 評価2:現状維持

利用者は当初の目標に対して25%程度にとどまり、依然として利用率が低い状態である。利用者低迷の原因分析が不十分であるため、まず周辺類似施設や利用者の傾向、利用者の声の調査・分析をすべきである。利用者獲得のPRや利用料金、利用条件の見直し、経費節減などにより、収支改善を目指す必要があるが、利用者増が図れない場合は民間委託や民間譲渡等の検討も必要である。

第2次周南市まちづくり総合計画に関する決議

現在、本市は平成27年度以降のまちづくりの方向性を示す第2次周南市まちづくり総合計画の策定作業を行っており、本年6月に基本構想素案、7月に前期基本計画素案が、また、9月には周南市まちづくり総合計画審議会答申後、修正を加えた基本構想及び前期基本計画の素案が議会に示された。

平成15年の合併以来10年以上が経過し、合併後のまちづくりは進められつつあるものの、人口減少、少子高齢化、公共施設の老朽化、地方交付税の減少など本市を取り巻く環境は一段と厳しさを増す一方で、幅広い行政需要に対応していくためには計画的かつ確かな市政運営が求められる。まさに第2次周南市まちづくり総合計画の対象期間である平成27年度からの10年間は本市の将来を左右する極めて重要な10年間である。

そのため、議会としてもこの重要な局面を迎えるに当たり、深謀遠慮の必要性を強く認識し、今後のまちづくりの方向性を示す総合計画の策定に関与し、二元代表制の一翼を担う立場としての責務を果たすため、昨年9月には周南市総合計画策定条例を一部修正可決し、本年6月には協議・検討の場として全議員の賛成をもって特別委員会を設置した。

さらに、特別委員会においては、まず基本構想及び前期基本計画の素案に対して、委員差しかえによる質疑を行った。その後、各会派から提出された意見を特別委員会の場で協議・検討する中で、最終的に第2次周南市まちづくり総合計画素案に対する議会としての意見のとりまとめを行ったところである。

については、第2次周南市まちづくり総合計画（基本構想及び前期基本計画）の策定に関し、次のとおり提言する。

基本構想（一部抜粋）

【周南市の未来像】

- ・政府は、人口減少問題が注目される中で当面の地域活性化や中長期ビジョンを策定する新組織「まち・ひと・しごと創生本部」を内閣官房に設立し、首相を本部長に新設の地方創生担当大臣並びに官房長官を副本部長という体制で地方の現状に本腰を入れてくる。9月には「まち・ひと・しごと創生法案」が提出をされた。周南市の基本構想にはこれらの動きの記述がなく、人口減少などへの危機感はむしろ国、政府のほうが強いと感じる。「まち・ひと・しごと創生法」の成立を待って、国の施策との連動を基本構想に位置づけるべきである。
- ・人口減少を念頭に置いた自立可能な自治体づくりを目指す基本的な考え方は評価するが、取り組みの中で反映されているのか、必ずしも適合されていない。また、人口減少は他の自治体でも同じ問題を抱えているので、人口減少に伴う財政運営についても記述すべきである。
- ・まちづくりの基本理念として、「持続可能なまちづくり」から「自立したまちづくり」、さらに「周南の価値を高めるまちづくり」を目指すとするが、皆似て非なるものに見える。できれば、自立したとはどのような状態を指すのかわかりやすく説明するなど、もう少し明確かつ具体的な内容で、誰もがイメージを膨らませやすい表現にすべきである。

【市民の意識】

- ・市民アンケートが施策の判断、考え方になっているが前回と同じ項目であり、何を知りたいのか、どこをどうしたいのか、基本計画にどう生かしていくのか、はっきりしない。調査に当たっては、基本施策、推進施策に対する評価ができるよう、調査内容を精査して実施するべきである。また、各項目について不満があるなら、それがなぜなのか分析することができ、計画に反映できるように改善すべきである。

前期基本計画（一部抜粋）

【「将来の都市像」の実現に向けた主要プロジェクト】

〈社会で育む少子化対策プロジェクト〉

- ・主要推進部分から子育て家庭、ひとり親家庭の支援が抜け落ちている。具体的な経済支援をしていくためには必要であるので加えるべきである。

〈自立した地域づくりプロジェクト〉

- ・中山間地域振興プロジェクトを重点施策として取り組むことは意義あることであるが、地域コミュニティ単位の現状課題を把握し、推進施策の展開方向を明確にすべきである。

〈まちじゅう賑わいプロジェクト〉

- ・南北自由通路の供用開始となっても、駅南の開発などによる回遊性に着目しなければ多額投資の効果がない。主な取り組み（推進施策）に山口県の港湾整備などと深く連携した「駅南の開発、活性化」という文言を中心商店街の活性化とともに記述すべきである。

〈中山間地域振興プロジェクト〉

- ・周辺中山間地域は、若者定住、子育て支援のための施策を明確にしなければ、消滅してしまうことになる。例えば、現在辛うじて生活圏を形成維持できている鹿野地域には、過疎債での財源運用などで魅力的かつ有利な若者定住団地提供など政策的な人口維持対策を明記すべきである。

〈将来に向けた行財政経営プロジェクト〉

- ・公共施設の再配置はランニングコストの評価だけでなく若者定住に向けたまちづくりに視点を置いて検討すべきである。

※ まちづくり総合計画に関する決議は、全部で107項目あるため、議会だよりでは、一部抜粋して掲載しています。
※ 全ての項目については、議会事務局にお問い合わせをいただくか、周南市議会ホームページをごらんください。